

趣味紹介

ハタハタ釣り



ハタハタ釣りのご紹介

ハタハタは網で獲ったものを買うものだと思っている方がほとんどでしょう。12月に北風の吹く中での釣りは気違い沙汰だと思われる方も多いと思います。それでもハタハタ釣りは大人気ですし、県外(山形・岩手・宮城・例外的に茨城)からも来ています。そんな楽しみを紹介したいと思います。

1. 服装

暖かい下着に冬用の衣類・厚手のカッパ(冬用)・暖かい長靴(上着はダウンでも良いが、別途防水の物が必要です)

2. 帽子・手袋

帽子は耳当ての付いた冬用がお勧めです。

手袋は釣り用でもかまいませんが、薄手のゴム引き軍手が濡れずに風も防いでくれます。

3. 竿・リール

3.6メートルの投げ竿に道糸4号巻きのものが適当です。

4. 仕掛け

秋田で売っているハタハタ仕掛け(サビキ)がお勧めですが、市販のアジサビキでカエシを取るなどの改造でも可能です。

色はバケ(毛ばりの羽根にあたるもの)が白色で頭が赤系の塗色のもの、かつ、ハリスが2号以上で針が大きめです。

オモリは5号から15号の蛍光カラーをご用意ください。

夜間に釣る方は仕掛けの上部につけるケミホタルなどの目印が必要です。(仕掛けの位置を確認し、隣とのトラブル防止)

5. 釣り方

①仕掛けを防波堤に近いところに落とし、底から50センチ程度巻き上げます。

②竿先を上げ下げして魚を誘います。

③2~3回繰り返したら、そのままで1~2分待つ。

②・③を繰り返しながら釣れるのを待ちます。

④ハタハタの当たりは明確なので必ず判ります。

⑤当たりが来たら無理をしない程度に速やかに揚げる。

スレ(口以外にかかる)で釣れる場合が多いので針の位置に注意して外して下さい。また、魚を強く握りすぎるとブリコが出てしまいます。

2匹目・3匹目を狙うのは危険です。おとなりさんと絡まったり、重くて揚がらなかったりすることになります。

釣れる・釣れないはハタハタの群れが回遊しているかどうかによります。周りの釣り人の様子で判断してください。

6. 調理法

釣れたハタハタに適当量の塩を振りかけて、全体をかき混ぜたら、一晩置いときます。翌日に水で洗うとぬめりが取れて処理しやすくなっています。魚を持つ手に軍手を着けて頭・エラを落とします。後は煮る・焼く・揚げる、食べるとなります。

7. ブリコの活用

①鮮度の良いブリコをぬるま湯でほぐし、ぬめりを除きます。

②70度程度のお湯に浸して全体を暖めます。

③酒・ミリン・しょうゆを1・1・2の割合で作った漬け汁を70度程度に暖めて、②のブリコを漬け込みます。

④一晩置くと完成です。ご飯の上のせて食べてください。

二日目くらいのほうがカラが柔らかくてお勧めです。

※お湯で暖めるのは万が一寄生虫がいた場合を想定して安全を確保するためです。下処理をしていると、ごくたまにですが寄生虫を見つけることがあります。



◀ 本荘マリーナでのハタハタ釣りの様子



◀ 筆者が釣ったハタハタ

◆ 記事

田口 芳美 昭和43年電気科卒
釣り同好会 代表

WASHIYA PROMOTION イベントや企業パーティーなど
★全国どこでもタレント派遣します★

有限会社
ワシヤプロモーション

代表取締役 鷺谷 透 (昭和56年機械科卒)

OFFICE/〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町1-29 第2柴田ビル3F
TEL/048-649-8993 FAX/048-647-0073
URL: http://www.washiapro.com/ E-mail: hibiki@washiapro.com

給排水・衛生・空調・設備 設計・施工・保守

HSK 株式会社 北勢工業

質実剛健 二人で咲かず同期桜

取締役会長 太田 光重 (昭和31年機械科卒)
監査役 仙北谷 孝治 (昭和31年機械科卒)
代表取締役社長 太田 博之 (昭和56年工業化学科卒)

秋田市仁井田本町5-1-62
TEL: 018 (839) 6516
FAX: 018 (839) 6513
http://www.hokusei-kogyo.com